

ショート動画でメンタルからフィジカルまでの職場理解・配慮・休復職のポイントを教育でき、自社ページで制度・相談窓口も周知

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴	
北海道	東北	関東	甲信越	<p>アリジュLEARNINGは、病気の予防や治療、入院から職場復帰までの正しい情報を全社員へ提供し、メンタルヘルス不調にも対応した製薬会社グループが作ったサービスです。</p> <p>充実した動画研修コンテンツで、病気になった本人だけでなく、上司や同僚もそれぞれの立場で学べる内容となっています。特に上司向けには、病気になった部下への支援方法や注意すべき言動が分かり、チームによる支援強化を図ることができます。</p> <p>このように、社員の病気や復帰・両立支援に関する理解促進や職場環境改善、業務体制構築をサポートします。</p> <p>また、休復職に関する社内制度・体制を社員に分かりやすく集約した社内ページを、導入企業ごとに作成・周知します。社内ページ作成過程では、整備すべき項目を把握いただき、必要な制度・体制を整えるための助言をします。</p> <p>さらに、本サービスの動画を用いた上司向け/社員向けの導入研修を提供します。研修によって、困ったときはお互いさまの職場風土醸成、上司・同僚の対応力の強化、社員の制度理解と利用促進という効果が期待できます。</p> <p>これらのサービスにより、社員一人ひとりが安心して働き続けられる職場づくりを支援します。</p>	
北陸	東海	近畿	中国		
四国	九州	沖縄	海外		
提供可能法人規模(◎:実績あり、○:提供可)				導入企業の評価	
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上	<p>導入企業の評価</p> <p>本サービスを用いて研修を行い、病気になったときに人事へ相談する従業員の割合が62.7%から82.2%、要配慮個人情報への人事における取扱いの理解者の割合が11.7%から91.7%と改善した。社内制度について整理することで、アクセスが容易になり社内制度の浸透が図れた。</p> <p>(本サービスを利用した社員の声)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画等のコンテンツにおいて内容の分かりやすさや具体性、コンパクトな構成、チェックリストの有用性を感じた ・相談しやすい雰囲気やサポート体制、社員のヘルスリテラシー向上、寄り添う姿勢の大切さを実感 ・もしもの時に慌てずに済むよう、事前に知識や当事者意識を持つことの意義を感じた ・病気の共有範囲やプライバシー配慮、噂話への懸念など、情報取扱いの重要性が理解できた ・病気になった場合や部下、同僚から相談があった際の具体的な対応方法が理解できた ・自分自身が正しい知識や心構えを持つこと、寄り添う気持ちを持って対応する重要性を学んだ ・定期的な研修や啓発が助け合う意識や雰囲気の形成につながると感じた ・相談することで不安が軽減できると感じた、社内に相談窓口があることで安心感を得られた 	
○	◎	◎	○		
サービスの目的・期待される効果					
【凡例】◎:実証評価>●:理論的裏付け>○:ユーザー評価					
基盤整備	法制度対応		-		
	制度・施策体系の整理		-		
	人事・産業保健業務の効率化・負担減		-		
	組織状況の把握		-		
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上		-		
	相談窓口の利用率・認知率向上		◎		
	プログラムへの参加率・利用率向上		-		
	不調の早期発見・対応		-		
	ヘルスリテラシー・意識向上		◎		
	仕事のストレス要因低減		-		
	心理的安全性・上司のサポート力向上		◎		
周囲のサポート力向上		◎			
心の健康・業務パフォーマンス	生活習慣の改善		-		
	健康状態・心理指標改善		-		
	アブゼンティーズム改善		-		
	プレゼンティーズム改善		-		
	ワーク・エンゲージメント向上		-		
	従業員エンゲージメント向上		-		
	労務指標改善(離職率、残業時間等)		-		

<https://www.arirge.co.jp/business/learning/>

理論的裏付け

採用している理論の概要

製薬会社が保有している副作用情報と副作用マネジメント情報を基に、疾病性と事例性を分かりやすく提供しています。医師向けに提供している最新の情報と信頼のおける情報源を整理・集約し、提供しています。定期的なメンテナンスで情報をアップデートをしています。

実証評価

学術介入の有無	学術研究機関等による科学的な効果検証		学術研究期間等が介在しない独自の効果検証		
エビデンスの水準	ランダム化比較試験	非ランダム化比較試験	単純前後比較などの準 実験的研究	コホート研究	横断研究または症例対 照研究

実証評価の結果概要

本サービスを用いて研修を行い、病気になったときに人事へ相談する従業員の割合が62.7%から82.2%、要配慮個人情報の人事における取扱いの理解者の割合が11.7%から91.7%と改善した。社内制度について整理することで、アクセスが容易になり社内制度の浸透が図れた。

(本サービスを利用した社員の声)

- ・動画等のコンテンツにおいて内容の分かりやすさや具体性、コンパクトな構成、チェックリストの有用性を感じた
- ・相談しやすい雰囲気やサポート体制、社員のヘルスリテラシー向上、寄り添う姿勢の大切さを実感
- ・もしもの時に慌てずに済むよう、事前に知識や当事者意識を持つことの意義を感じた
- ・病気の共有範囲やプライバシー配慮、噂話への懸念など、情報取扱いの重要性が理解できた
- ・病気になった場合や部下、同僚から相談があった際の具体的な対応方法が理解できた
- ・自分自身が正しい知識や心構えを持つこと、寄り添う気持ちを持って対応する重要性を学んだ
- ・定期的な研修や啓発が助け合う意識や雰囲気の形成につながると感じた
- ・相談することで不安が軽減できると感じた、社内に相談窓口があることで安心感を得られた